

2014 年度事業報告

1. 事業の目的(美しい手賀沼の実現に向けての提言と参画)

「美手連は、関係市民団体及び手賀沼水環境保全協議会(手水協)、県、市などの自治体と協力・連携を図り、手賀沼浄化及び環境保全を進め広く市民に呼びかけます。」について

手水協の構成団体として、通常総会、担当者会議、幹事会、専門委員会に参加し、市民の視点からの意見を提案しました。さらに、手賀沼流域フォーラム実行委員会の事務局を担い、手賀沼統一クリーンデイを主催するなど、手賀沼流域の行政や市民活動団体と協働し、市民の参加や参画による手賀沼流域の環境保全活動を進めました。

また、千葉県手賀沼親水広場の我孫子市への委譲にあたり、県や我孫子市と話し合いを行い、手賀沼の環境保全活動に停滞が無いような対策を望むことを伝えました。

(1) 手水協 専門委員会への参画

手水協専門委員会は、学識経験者、住民代表、事業者代表(柏市環境保全協議会、我孫子青年会議所、柏市沼南商工会)、利水団体(手賀沼漁協、我孫子手賀沼漁協、手賀沼土地改良区、木下土地改良区)、県、流域市により構成され、「手賀沼水循環回復行動計画」の推進について専門的な検討をすることを目的としています。美手連から4名(八鍬、間野、塩野谷、半沢)が住民代表として参加しています。

2月の委員会では、水環境保全に係る平成25年度の取り組み実績と平成26年度の事業進捗の報告があり、個々の取り組みについて意見がありました。特に、美手連として、千葉県手賀沼親水広場における環境教育事業の継続について意見を述べました。

(2) 千葉県手賀沼親水広場の委譲について千葉県へ要望書提出

「水の館を含む手賀沼親水広場」が千葉県から我孫子市に委譲されるにあたり、10月24日には千葉県環境生活部水質保全課から、11月7日には我孫子市環境経済部から内容説明を受けました。しかし、これまで同施設が果してきた手賀沼環境保全活動の中心としての役割を継続して果たしていくことができるのかという懸念は払拭されず、12月5日手水協会長千葉県知事に下記内容の要望書を提出し、12月22日には千葉県知事あてに要望書を提出しました。

1月5日に千葉県知事から回答があり、2月14日には、手水協構成団体の意見も踏まえて手水協会長の回答がありました。その後の我孫子市との話し合いなどを重ねる中で、手賀沼親水広場が果してきた役割を共有することができました。今後も市民団体と共に、環境保全・環境教育活動を進めていけるよう期待します。

【要望書要約】

- ① 我孫子市へ委譲する際の基本的な考え方は「水質保全啓発活動拠点として手賀沼浄化の意識高揚に寄与すること」と、県と市により確認されている。委譲にあたり、水環境啓発施設として機能させる主要条件の内容が伴わなければならない。
- ② 手賀沼流域の環境保全啓発を行うには、年間延べ120を超える団体が活用している研修室を残す必要がある。
- ③ 親水広場では年間100回を超える環境啓発活動が行われてきた。親水広場は、活動の拠点であり、とりわけ子ども達が学ぶことのできるプログラムが充実しており、その成果を継続発展させるべき

である。

- ④ 千葉県環境財団の優れたプログラムによって、親水広場には手賀沼流域をはじめ多くの地域から環境学習に来ていた。さらに同財団は、自らの調査や市民の持ち込みで、生き物の状況を把握、記録し、県の博物館や研究者の方々に繋いできた。環境学習・啓発の部分は今まで通り、環境財団等の専門家に委託し、県の責任で続けるべきである。
- ⑤ 手賀沼の環境改善、啓発、環境教育は、引き続き県の責任において行われるべきである。その実現のために、水の館の一角に、手水協の事務所を設置し、環境に関する専門家の常駐を要望する。

2. 行政との協働事業

(1) 手賀沼統一クリーンデイの充実

「手水協、県、市などの自治体及び他団体との連携や情宣の工夫により参加者の拡大を進めます。清掃活動を通して、市民にゴミのない綺麗な環境を維持することの素晴らしさと大切さを体感して貰います。」について

第12回手賀沼統一クリーンデイは、我孫子地区、柏地区（3か所）、印西亀成川地区、白井地区の4地区6か所で実施しました。前年度までの沼南下手賀地区は柏地区として手賀沼岸で実施しました。

広報については、統一チラシをエコマラソンで配布し、千葉西部読売会柏東支部・柏西支部、千葉北部読売会我孫子支部の協力を得て、チラシ76,500枚を新聞折り込みしました。白井地区、印西亀成地区では独自チラシを作成し、地域に参加呼びかけをしました。全体で参加者数は681人（前年比97.3%）、ゴミ収集量は2.69トン（前年比144.6%）でした。たくさんのお他団体に参加していただくことから、当日の進め方についての配慮を十分にすることが課題になりました。

【柏（大堀川）地区】12月7日実施

企画運営：大堀川の水辺をきれいにする会

実施場所：柏ふるさと公園～大津川河口の手前

参加者：73人（一般52人：柏トライアスロンサポート、竹中土木、ナルク）柏市環境政策課

ゴミ収集量：1000kg

1班14名、2班・3班各8名、4班22名、会員21名で総勢73名の参加でした。清掃後の諸団体の代表者の方の発表・感想では、「以前に比べゴミが少なかったみたい」「今後も、是非参加したいし、胴長を着けてやりたい」との頼もしい発言等、がありました。トライアスロン関係団体の方には、「暖かい豚汁」を振舞って頂きました。

【柏（大津川）地区】12月7日実施

企画運営：大津川をきれいにする会

実施場所：双子橋～ヒドリ橋の川岸、手賀沼自然ふれあい緑道（ヒドリ橋西鉄塔～東見晴らし台）

参加者：69名（会員14名、千葉銀行清風会60名、一般参加3名）

ゴミ収集量：250kg

千葉銀行清風会と一般の方が参加され、作業前の指示をして進めました。作業は、清風会の希望で1時間の作業で終わりました。天気にも恵まれ、楽しんでもらえたと思います。

【柏（沼南岸）地区】12月7日実施

企画運営：沼南 手賀沼ボランティア会

実施場所：手賀沼自然ふれあい緑道（道の駅「しょうなん」～東見晴らし台）

参加者：千葉銀行清風会 70 名、沼南 手賀沼ボランティア会 8 名

ゴミ収集量：300kg

平成25年秋の台風で手賀沼の水位が上がり浮遊ゴミが岸辺の草上を被っている状況でした。翌春から、沼南 手賀沼ボランティア会の活動として清掃活動を始めていました。11月には現地調査をし、統一クリーンデイとして作業可能な4地域を発見し、4地域を分担して清掃作業をすることにしました。作業の表示板を3カ所設置しました。当日は朝礼を開催して作業計画の概要を説明しました。

【我孫子地区】12月7日実施

企画運営：NP0 せつけんの街、アルバトロスヨットクラブ

実施場所：手賀沼北岸（根戸新田～手賀沼公園～手賀沼親水広場）

参加者：391 名（実行委員会 6 団体、一般参加 14 団体）

ゴミ収集量：420kg

我孫子市「手賀沼ふれあい清掃」の中で、美手連は今年度も根戸新田の道路沿い手賀沼河畔を担当しました。根戸新田道路から沼側に降りるハシゴ 6 箇所の設置、長靴、火バサミ、軍手の用意をアルバトロスヨットクラブが実施しました。

ゴミの総量は減少傾向にあるが、不燃ゴミが多かった。葦を刈っていない沼側にゴミがあるため、沼に向かって楯状に通路を刈れば拾うことができると思われます。

【印西亀成川地区】12月7日実施

企画運営：亀成川を愛する会

実施場所：亀成川上流部（京免 1 号橋～和田戸第 1 橋）とその流域斜面林沿いの道筋

参加者：23 名（一般 4 名、印西市長、印西市職員 3 名、地元住民 1 名、亀成川を愛する会 14 名）

ゴミ収集量：640kg

別所橋より上流域と下流域の 2 班に分かれ、川の両岸と斜面林沿いの道筋のゴミ拾いをしました。地元の方が軽トラックを出し、濡に捨てられたテレビ 6 台を回収しました。また、印西市が大林組より寄付を受けた竹林で、環境保全課の職員と亀成川を愛する会会員が、道にはみ出してきている竹伐りに奮闘しました。

作業終了後は、地元町内会の根郷会館で、温かいトン汁などを存分に味わい、別所獅子舞保存会の伊藤さんのお話を聴きました。

【白井地区】12月14日実施

企画運営：美手連、白井市、今井の桜並木保全プロジェクト

実施場所：金山落（名内橋から今井 3 号橋）

参加者：47 名（一般 29 名、白井市職員 7 名、県職員 9 名、美手連 2 名）

ゴミ収集量：80 kg（処理困難物、イノシシの溺死体は除く）

集合場所の白井市役所から現地まで、例年は貸し切りバス 1 台で往復していたのが、今回は白井市がマイクロバスを出して下さったので、2 台で一度に移動でき、円滑に実施できました。

作業終了後今井青年館に集合し、今井地区に残る、洪水の際に避難する水防施設の水塚（みづか）を、白井市文化課の職員さんの案内で見学しました。また、白井市農産物加工研究会の方たちが作ってくださった「ばらっぱまんじゅう」も美味しくいただきました。

(2)手賀沼流域フォーラムの開催

「2014年度(第18回)手賀沼流域フォーラムの事務局を担い、開催します。流域の団体、自治体と連携し実行委員会を組織して、大勢の市民参加をはかります。」について

地域企画は24団体により29企画(実施31回)が開催され、参加者数も300名増加しました。また、全体会として、(株)野田自然共生ファーム代表取締役・野田市長根本崇さんによる講演会「野田市の自然再生の取り組みと、コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラムについて」を開催しました。根本市長の環境再生の積極的な取り組みと、NPO法人手賀沼トラスト事務局長富澤崇さんが「里山を守る力」で語った「環境の恵みを得ている地元人が農による環境保全を継承していく」という力強い話は、大きな共感を呼びました。

2012年度より実施している手賀沼生き物調査事業は、「ハス群落の刈り取り実験」「手賀沼の魚類貝類調査」「特定外来生物ナガエツルノゲイトウ・オオカワヂシャ等の調査」を実施しました。3月には、ハス群落の拡大と特定外来生物(植物)にテーマを絞り、手賀沼生き物調査報告会を実施しました。その中で、「侵略的外来生物の防除例とそこから学ぶべきこと」と題して、人間環境大学藤井伸二さんに講演いただき、これからどのように進めていくかの示唆をいただくことができました。

2014年度地域企画・全体会実績報告 ●印親子企画

	月日	企画名	企画団体	参加人数
柏 ⑥	8/9	●手賀沼親子ヨット体験乗船会	NPO法人アルパトロスヨットクラブ	69名
	9/13	●手賀沼親子自然観察会-手賀沼用水路で魚とり!(柏)	手賀沼水生生物研究会	69名
	9/28	こんぶくろ池・秋の自然観察会	NPO法人こんぶくろ池自然の森	18名
	9/28	大堀川 わくわくウォーキング	大堀川の水辺をきれいにする会	23名
	9/28	手賀沼一周の船上見学と我孫子の代表的な史跡を訪ねる	沼南 手賀沼ボランティア会	36名
	10/5	大津川上流域の自然と歴史を歩く	大津川をきれいにする会	中止
我孫子 ⑩	5/7	緑のカーテンづくり講習会	我孫子市消費者の会	100名
	7/19 8/23	●生きものと共生するかかしまつり ①かかし作り ②かかしまつり(コンテスト)	NPO 法人手賀沼トラスト	①49名 ②64名
	7/27	●手賀沼をもっときれいに!いきものにやさしいせっけんで!!	我孫子市石けん利用推進協議会	35名
	9/27	●手賀沼親子ヨット体験乗船会	NPO法人アルパトロスヨットクラブ	65名
	9/28	川めぐりと木下の史跡散歩	我孫子の文化を守る会	22名
	10/4	手賀沼の歴史景観をみよう(午前、午後2回実施)	我孫子の景観を育てる会	74名
	10/19	●手賀沼賞 エコ・こども教室	我孫子市環境レンジャー	発表 32名 クイズ 411名
	7/27	●カブトムシを探そう、クワガタを探そう	船戸の森の会	92名
	10/26	●船戸の森をきれいにしよう、みんなでサツマイモほりしよう		86名
	11/8	●手賀沼親子自然観察会-手賀沼用水路で魚とり!	手賀沼水生生物研究会	47名
11/30	●手賀沼親子ふれあい探鳥会	我孫子野鳥を守る会	33名	
流山	9/30	北千葉導水路市民見学会	流山市立博物館友の会	27名
松戸 ②	7/26	●もっと知ろう手賀沼~①水調べと手賀沼船上観察②定点観察	松戸環境ネットワーク	20名
	8/23	●もっと知ろう手賀沼~学習会		12名

鎌ヶ谷 ②	10/19	大津川を歩きませんか～身近な川辺をきれいにしよう～	鎌ヶ谷・大津川を清流にする会	10名
	11/8	竹炭・華炭を焼こう	栗野の森の会	23名
白井 ②	11/22	ぐるっと一周平塚の里	NPO 法人しろい環境塾	22名
	9/27	●金山落(今井の桜並木)生き物観察	今井の桜保全プロジェクト	38名
印西 ④	7/21	●手賀沼親子魚とり体験と船上観察	印西 水と暮らしを守る会	28名
	8/3	●亀成川生きもの観察	亀成川を愛する会	68名
	10/19	里山散策会～手賀沼流域の弁天川及び利根川土手と木下貝層、水辺の文学館、吉岡問屋	印西ウエットランドガイド	28名
	10/29	里山散策会～亀成川谷津及び宝泉院地藏堂付近		53名
10/19、11/3	●手賀沼の魚を観察してみよう	千葉県手賀沼親水広場	60名	
地域企画合計 全29企画(実施回数31) (下段 前年度)				1,714名 (1,414名)
全体会	10/11	野田市の自然再生の取り組みと「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」について		110名
	3/13	手賀沼生き物調査報告会		91名
全体会合計 (下段 前年度)				201名 (199名)
2014年度総合計 (下段 前年度)				1915名 (1,613名)

(3)手賀沼流域協働調査を実施します。

「手水協、県、市などの自治体とともに湧水調査、手賀沼流域河川の水質・生物調査を行います。」について

6月の事前研修会に参加し協働調査の目的と意義、調査方法について学び、湧水及び河川の水質調査等を春期と冬期に実施しました。湧水調査は昨年度同様16地点、内美手連構成団体は6地点に参加しました。河川水質調査は34地点で、6月は水生生物調査(8地点)も合わせて実施し、12月・1月は水質調査を実施しました。美手連は全体の約6割の地点の調査に参加しました。

【美手連、加盟団体参加状況】

調査内容	行政区	河川名	場所	参加団体
春期湧水	柏市	大津川	名戸ヶ谷ビオトープ、塚崎	大津川をきれいにする会 沼南手賀沼ボランティア会
	印西市	亀成川	古新田、大森呑内、宗甫東割、大森下ノ辺田	亀成川を愛する会
春期河川、水生生物	柏市	大津川	高柳馬渡付近	大津川をきれいにする会
			高柳かにかうち橋付近	
		大井二子橋	沼南手賀沼ボランティア会	
	染井入落	宮前	大堀川の水辺をきれいにする会	
大堀川	導水注入前、導水注入後 後原上樋管、天神前樋管 西前田樋管、高田緑地前 篠塚樋管、篠籠田橋樋管			
印西市	亀成川	水神橋、花輪橋、別所青年館 古新田第四橋、滝、京免一号橋	亀成川を愛する会	

	我孫子市	直接流入	都部（湖北集水路） 岡発戸（湖北集水路）	ふれあい手賀沼の会、我孫子野鳥を守る会、岡発戸・都部の谷津を愛する会、NPO せっけんの街
冬期湧水	柏市	大津川	名戸ヶ谷ビオトープ、塚崎	大津川をきれいにする会 沼南手賀沼ボランティア会
冬期河川	柏市	大津川	高柳馬渡付近 高柳かきうち橋付近 大井二子橋	大津川をきれいにする会 沼南手賀沼ボランティア会
		染井入落	宮前	
	大堀川	導水注入前、導水注入後 後原上樋管、天神前樋管 西前田樋管、高田緑地前 篠塚樋管、篠籠田橋樋管	大堀川の水辺をきれいにする会	
	印西市	亀成川	水神橋、花輪橋、別所青年館、 古新田第四橋、滝、京免一号橋	亀成川を愛する会
	我孫子市	直接流入	都部新田（湖北集水路） 岡発戸（湖北集水路）	ふれあい手賀沼の会、あびこ野鳥を守る会、岡発戸・都部の谷津を愛する会、NPOせっけんの街

3. 啓発事業

(1) 次世代に対する環境学習事業

「子ども達が手賀沼に触れる機会を増やし、『手賀沼』を伝えます。」について

(i) 手賀沼流域フォーラムの親子企画

手賀沼流域フォーラムの 15 企画が親子企画として開催され、たくさんの親子参加がありました。親子がフォーラムのいくつかの企画に参加するなど、フォーラム企画の認知が広がってきました。

(ii) 「てがぬまのいきもの」リーフレットの作成

手賀沼流域フォーラム事業として、子ども向けの「てがぬまのいきもの」リーフレットを 25 年度末より編集をしてきました。26 年度初めに印刷発行し、手賀沼流域フォーラム企画や Enjoy! 手賀沼など様々な機会に配布してきました。対象を幼稚園児から小学校 1・2 年生とし、観察・体験の楽しさ、手賀沼に行ってみたくなるようなワクワク感を伝えるものを目指しました。そのねらい通り好評です。

(iii) 柏ロータリークラブ主催「手賀沼の環境と防災・防犯を学ぼう」

3 月、柏第 5 小学校で親子 80 名が参加し、美手連、NPO せっけんの街、我孫子市石けん利用推進協議会が講師となり、手賀沼の環境変化や水質保全のためせっけんを使うことの大切さを伝えました。

(2) 手賀沼とその流域に関する情報の提供

「ホームページの充実を図ります。加盟団体と連携して、刊行物出版により、手賀沼に係る情報を広く提供していきます。」について

24 年度にホームページの内容を整理し更新しました。25 年度以降は、講演会・勉強会等のお知らせ、活動報告についての掲載をすることができていません。早急にホームページをリニューアルし、更新体制を作ります。

手賀沼基金による助成を行い、我孫子野鳥を守る会の「鳥の観察のためのリーフレット」作成に協

力しました。手賀沼での野鳥観察のよい資料として、野鳥を身近に親しむため活用されています。

(3) 学習会・講演会・見学会の実施

「手賀沼流域の環境を良くするため、幅広く知見を深める機会を設けます。」について

(i) 講演会の開催

26年度の総会後に、「手賀沼と流域の人々の生活―手賀沼の成立・漁業・ウナギ・鳥獣・行商」と題して、元北海道教育大学教授・流山市立博物館友の会会員の相原正義さんの講演会を実施しました。手賀沼とそこに暮らす人々との関わりを教えてくださいました。

(ii) 研修会の開催

11月に千葉市立郷土博物館、千葉県立中央博物館の見学を実施しました。中央博物館では、中村俊彦副館長から、「生物多様性を進めていくには、ただ中央博があればよいのではなく、各地で環境ステーションの様なものを作り活動していくことが重要」等の話を聴きました。さらに、中央博物館主任上席研究員林紀男さんの引率で、生態園を見学しました。人が手を加えない管理をすることで生物多様性が保全され、オオスズメバチもそっと見守られていました。舟田池では野鳥がくつろぎ、水草は印旛沼と手賀沼のものがそれぞれ保存育成されているのを見ることができました。

(4) 勉強会

「会員相互の理解を深め、連携を図るため実施します。」について

互いの活動を知ることは25年度で一巡したため、26年度は各団体の活動を理事会のショートスピーチで共有しました。10月理事会後には、手賀沼親水広場須藤所長から「手賀沼の魚類・貝類」について変遷や現状について教えてくださいました。

4. 在来生態系の保全復元活動

「手賀沼流域の豊かな生態系をよみがえらせるために、保全・再生活動に取り組みます。」

- (1) 行政・研究者・加盟団体とともに調査・研究をすすめます。
- (2) 生態系の保全・再生活動に取り組みます。
- (3) 外来生物の駆除活動に取り組みます。
- (4) ハス群落について、行政とともに調査研究をすすめます。」について

(i) ハス群落の拡大、魚類・貝類、特定外来生物の調査事業

25年度に引き続き手賀沼流域フォーラムからの委託事業として、「ハスの刈り取り実験」、「魚類・貝類調査」、「特定外来生物ナガエツルノゲイトウ、オオカワヂシャ等の生息調査」を実施しました。魚類貝類調査は手賀沼水生生物研究会、オオカワヂシャの自生地等の調査は手賀沼にマシジミとガシヤモクを復活させる会が中心となって実施しました。

【ハス群落の繁茂抑制のための刈り取り効果検証実験】

ハスの刈り取り効果検証実験は、県立中央博物館の林紀男さんと協同研究として実施しました。

一辺10mの方形区を水深の異なる2地点に設定し、隣接して対照区も設定しました。船上から浮葉および抽水葉の茎部を水中部で切断し、根茎部への空気供給を絶ち窒息させました。切断したハス茎部はしばらくすると水上に切断面を持ち上げるため、これを再び水中部で切断し地下部への空気補給

路を断ちました。刈り取りは6月と7月実施し、9月と10月に生長したハスの生育密度および生育量を計測しました。その結果、深水実験区および浅水実験区のいずれにおいても刈り取り実施した区画では、対照区と比較して有意に抑制されていきました。抑制の度合いは深水実験区に比較して浅水実験区において顕著でした。刈り取りによるハス繁茂抑制効果は、27年にも検証します。（参照：林紀男さんによるメモ「手賀沼南岸に繁茂する抽水植物ハスの群落規模抑制に関する検証について」 作図：林紀男さん）



(ii) 特定外来生物の駆除活動

ナガエツルノゲイトウ、オオカワヂシャ、オオフサモの防除活動に取り組むため、環境省の特定外来生物法に基づく防除認定申請を目指しましたが、ナガエツルノゲイトウやオオカワヂシャ等の繁茂状況が拡大している状況に鑑み、市民団体が認定を受けるのではなく、管理者である柏土木事務所や行政が防除認定を受け、協働で抑制及び駆除活動を実施するべきと考えました。

ナガエツルノゲイトウの調査や駆除については、柏土木事務所と相談し、千葉県河川海岸アダプトプログラムの活動として協働で取り組みました。オオカワヂシャについては、引き続き生息調査と引き抜き作業を実施しました。特定外来種問題の取り組みについて、林紀男さんが美手連と協同で千葉生物誌に「手賀沼西部におけるナガエツルノゲイトウ繁茂域の拡大」を発表し、2月の千葉県生物学会では、美手連が「遮光シート被覆によるナガエツルノゲイトウ駆除の試み」を報告しました。

【ナガエツルノゲイトウ群落の遮光シートによる駆除の試み】

26年3月23日手賀沼公園湖上園棧橋横に、遮光シート8m×20mを設置しました。27日から水位が上がり、一部は水面上に浮き上がってしまいました。5月になると浮きあがったシートの上にナガエツルノゲイトウが芽を出し、成長し始めました。8月末には水位が下がり、ナガエツルノゲイトウはシート上を被いながら拡がり、湿地性植物なども繁茂し始めました。しかし、遮光シートの成長阻害効果は確認することができました。

11月27日シート上に繁茂したナガエツルノゲイトウやその他植物をていねいに除去しました。刈り取ったものは我孫子市手賀沼課が処理をして下さいました。抑制効果を補強するため、27年1月既設シート上に重ねて6m×10mのシートを設置し、新たに定着し始めた箇所にも4m×8mシートを設置しました。



5. その他

「美手連の目的を達成する事業について支援します。」について

1) 手賀沼基金

2 団体から申請があり、プレゼン審査の結果、我孫子野鳥を守る会「鳥の観察のためのリーフレット作成費」とNPOせっけんの街「せっけんの使い方のパンフレット作成費」を助成しました。

2) 手賀沼学会

八鍬会長が学会運営委員会の副会長として参画してきました。7月に第11回手賀沼学会大会が開催され、今回で終了することとなりました。

3) エンジョイ手賀沼

後援団体として物品の貸出等で協力しました。

4) 千葉県手賀沼親水広場運営会議

26年度は2回開催され、八鍬会長が運営会議委員として参加しました。

5) 印旛沼で活動している環境団体との連携

11月に、特定非営利活動法人 印旛沼広域環境研究会（NPO いんば）が手賀沼を視察した際に、船上見学と水の館での交流会を実施しました。双方とも特定外来種の対策や沈水植物保全、利根川水系としての問題点を共有し、情報交換をしながら解決していくことを確認しました。

6) 他団体への協力

- ・ 8月に開催された「手賀沼アート・ウォーク『手賀沼と民芸の心』展」（我孫子市・柏市共同文化催し）に、我孫子の文化を守る会、我孫子野鳥を守る会、我孫子の景観を育てる会、流山市立博物館友の会と共に協力しました。
- ・ 10月「手賀沼エコマラソン」のテントブースで、リーフレット「てがぬまのいきものたち」と統一クリーンデイのちらしを配布しました。